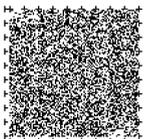


佐田委員提出資料



東京都障害者施策推進協議会第1回専門部会への意見

障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会

佐田 光三郎

地域における福祉サービス提供体制の整備について

1. 障害（児）者施設の設置促進について

→東京都のグループホーム設置状況

→肢体障害者のグループホームの設置の困難さなど、設置がすすまない大きな要因のひとつは、職員確保がますます困難になっていることがある。この問題の解決なしに整備が進まないのではないか。

*全体の福祉人材の有効求人倍率 3.05倍 全職種平均1.24倍

→職員の確保と定着には報酬の改定が必要

地域における福祉サービス供給体制の整備を進めるには、キュアリアアップの方向だけでなく、働く人が誇りと生き甲斐を持ち、継続して働き続けられる処遇が必要。独自の処遇改善加算をつくることを提言に盛り込むことが必要では。

2. 医療費助成制度の充実について

→現時点での助成対象は、身体障害者手帳1、2級（内部障害者は3級を含む）

愛の手帳 1、2度

→障害者差別解消法が施行されたにもかかわらず、依然として精神障害者が対象となっていない。都議会での採択を受け一刻早い実施を行うことが求められる。

→また現在対象となっていない障害の程度まで拡大することが必要ではないか。

→当面、知的障害者3、4度 心身障害者3、4級に拡大をする。

→障害者が地域で安心して暮せるために、生活を支える医療費助成について対象の拡大を提言に盛り込むことが必要では。

3. 重心施設の充実について

(1) 重症心身障害者（児）の通所の充実

→どの施設も定員を超えて受け入れている。

→療育センターの建設が行われていないことが最大の理由

→施設活用型ではなく、医療体制のある施設の建設計画の策定について、提言に盛り込むことが必要ではないか。

(2) 最重度の障害者を受け入れる療育センターの建設について

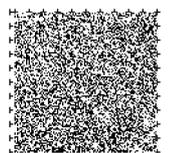
→待機者が依然として多数にのぼるなど、医療的ケアを必要とし、かつ安心してらせる場づくりは今後とも必要ではないか。

→現在の方向で、すべての重症心身障害児（者）を受け入れることができるのか

→もう一度イメージ化して見る必要があるのでは

→地域移行のすすまない原因は何なのかとも重ねて

→特に障害者の高齢化という状況も重ねて検討を行い、計画づくりへ向けての提言を盛り込むことが必要ではないか。



4. 所得保障の充実について

- 地域で生活する上で、所得保障が重要
- 東京都は独自の手当制度があり、大きな安心をつくっている。
- ただ制度創設から20年以上もたち、制度化当時の有効性から見れば物価の上昇など、十分ではない状況になっている。
- 地域で安心して暮らしていくために、この課題について検討を行い、提言に盛り込む必要ではないか。

5. どこに住んでも同じように充実した福祉サービスが受けられる支援体制づくりについて

- 地域間格差の是正を図る
- 地域生活支援事業など、地域間格差を是正していくための方向を提言に盛り込む必要ではないか。

6. 青年・成人期の余暇活動に対する支援について

- 都議会にて青年・成人期の余暇活動の制度化を求める請願が、全会一致で採択された。
- 市区町村障害者施策推進包括補助事業の選択事業に盛り込まれたが、区市町村からは要望があがっていない。
- 区市町村にとって自治体負担が必要となることが壁になっているのでは。
- 今後必要とする障害者の増大も予想されることから、さらに検討を重ね事業として使いやすい制度設計に向けた検討を提言する必要ではないか。

7. 安心・安全の暮らしづくりについて

- 障害者をはじめとする要支援者の防災対策は、検討がすすめられているが、住宅の耐震化など、減災対策をどう図るか、災害時の一次避難所のバリアフリー化などの促進や避難所での配慮体制（住環境、備蓄品）など課題がたくさんある。
- 要支援者に対する防災対策について、さらに詳細な総合的対策に向けての検討の必要性を提言に盛り込む必要ではないか。

8. 障害者スポーツの充実について

- もっと身近な場所でスポーツ活動に親しめる環境整備の一貫として、障害者総合スポーツセンターの建設をすすめる必要があるのではないか。また、地域の障害者施設のバリアフリー化と障害者スポーツの指導員等の育成と裾野の拡大に向けた施策の充実など、2020年のパラリンピックの開催へ向けて、提言に盛り込むことが必要ではないか。

